HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	地域的・類型論的観点からみた無生物主語について
Author(s)	風間, 伸次郎
Citation	北方言語研究, 6, 81-110
Issue Date	2016-01-20
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/60796
Type	bulletin (article)
File Information	06kazama.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北方言語研究 6: 81-110（北方言語ネットワーク編，北海道大学大学院文学研究科，2016）

地域的・類型論的観点からみた無生物主語について

風 間　伸 次 郎
（東京外国語大学）

0. はじめに

有標のヴォイス形式（例えば受身や使役）に関して、有生物を主語にしようとする傾向のあることは、すでに多くの研究で指摘されている（Klaiman (1988)）。しかし無標の述語における行為の方向性に関して、諸言語がどの程度有生物を主語にし、無生物[1]主語を回避しようとする傾向を持っているのかについてはまだ十分に研究されていない。

本稿では、上記の傾向について、質問票（questionnaire）を用いて語族の異なる 13 の言語について調査を行い、この傾向に地域的偏りがあるのか、類型論的にみてこの傾向の強い言語と弱い言語に分かれるのか、この傾向を左右する特徴は何か、この傾向は当該の言語における他の言語特徴と有機的な関連を持っているのか、について考察する第一段階の試みである。

結論としては、日本語はもっとも無生物主語を嫌う言語であり、朝鮮語とインドネシア語がこれに次ぎ、さらにモンゴル語やタイ語などアジアの言語が無生物主語を許容しない傾向にあることを示す。これに対し、アラビア語とペルシャ語は無生物主語に対してきわめて寛容で、ヨーロッパの印欧語族の言語もある程度無生物主語を許容する傾向にある。こうした違いの原因としては、動詞における人称標示の有無、文法性（gender）の有無、各言語の態の変換システムの違い、などがあげられることを指摘する。

1. 他動詞における無生物主語に関する先行研究

ここでは他動詞における無生物主語の成立要件に関する研究として、有生性階層を問題にした角田 (2009) と、他動性その他の要因を指摘した熊 (2009) をとりあげる。

1.1. 有生性階層の機能

角田 (2009: 50-53) には下記のような記述がある。

> 日本語において、自動詞文では主語が有生物であっても無生物であっても問題がないのに対し、無生物主語の他動詞文は不自然、あるいは翻訳調であるとされてきた。しかし目的語も無生物であれば、さほど不自然ではなくなる。
>
> 津波が三陸地方を襲った。
>
> 台風が九州を直撃した。
>
> したがってシルバースティーンの名詞句階層において、動作が階層の高い方に向かう場合には他動詞文は不自然となるが、低い方へ（この場合は自然力（津波、台

[1] 日本語学では、しばしば「無生物」ではなく「非情物」という用語が用いられる。これは「植物名詞」などが「無生物」ではない、という点に配慮した用語である。本稿では、「人でも動物でもないもの」を「無生物」と呼ぶものとする。したがって本稿でいう「無生物」は「非情物」と同義である。

風）から地名へ）向かう場合には問題がない。

英語や西オーストラリア州のジャル語では、動作が無生物から高い方へ向かった場合にも他動詞文が言える。他方 Craig (1976: 108-109) [筆者未見] によると、中米グワテマラのハカルテク語では、他動詞文の主語は人間または動物でなければならない。動作が台風のような自然力からさらに低い方へ向かった場合でさえも言えないらしい（自動詞文は主語が無生物であっても、無生物でなくても、いえる）。

以上、角田 (2009: 50-53) を要約

以下では、上記のような有生性階層における行為の方向の制限を「有生性方向制限」と呼ぶことにする。

1.2. 他動性をはじめとする動詞や構文上の制約

熊 (2009) は現時点で日本語の無生物主語他動詞文に関する最も詳細な研究であり、さらに中国語とも若干の対照を行った研究である。

熊 (2009) では、まず角田 (2009) の上記の有生性方向制限について、文学作品および新聞社説による検討を行っている。その結果、有生性方向制限に反する例は文学作品では 158 例（18.6%）、新聞社説では 30 例（3.3%）あることが観察されたという。これは角田 (2009) の仮説をある程度裏付ける結果となっている。さらに無生物名詞句内部において、次のような主語になりやすさの階層を提案している：「自然力名詞・組織・機関名詞＞他現象名詞・具体名詞＞抽象名詞」（熊 (2009: 63)）。背後に人間の存在が暗示されている名詞も無生物主語になりやすいことを指摘している（熊 (2009: 66-67)）。すなわち、文学作品では人間の感情や性質のような抽象名詞、身体の部分である具体名詞、新聞社説では組織／機関の名詞である（「君の**親切心**がオレを不安にする」、「たくさんの**眼**が彼を追い詰め、」、「**企業**は非正規従業員を増やした」）。

次に熊 (2009) はこうした有生性方向制限に反する例の成立条件をいくつか考察、提案している。その第一は他動性で、「受動的な文」（例：「しだれ桜が強烈な陽を**受けている**」）や「所属関係の文」（つまりは再帰的な文、例：「懐かしい建物が**姿を消した**」、「扇風機が軋んだ**音をたてた**」）では、他動性の高い文（例：「? ボールが窓ガラスを割った」、「? 電気ストーブが部屋を暖めた」）よりも無生物の他動詞主語が成立しやすいことを論じた（熊 (2009: 98, 140)）。

さらに熊 (2009) は、受動的でも再帰的でもない文についても無生物主語の成立要因を探っている。その際には、無生物主語他動詞文を次のような 4 種類の他動詞文に分類している（熊 (2009: 104-105)）。

自然現象他動詞文：津波が海浜の集落を襲った。

原因他動詞文：過度の野心が彼の寿命を縮めた。

道具他動詞文：白い布が机を覆っている。

優位関係他動詞文：今回の提案はいくつかの問題を含んでいる。

このうち、原因他動詞文と道具他動詞文に関しては、中国語との対照を行っている。そこでは通言語的に重要な指摘がいくつか見られる。

日本語で道具主語構文が成立するのは達成動詞（Vendler (1967) の分類による）の場合で、活動動詞では使えない、という指摘がある（大倉 (2004)「*かなづちが釘を打った」、「暖炉が部屋を暖めた」）。これを踏まえた上で、熊 (2009) は次のような指摘を行っている。

・日本語は中国語よりも無生物他動詞主語の可能な範囲が狭い（熊 (2009: 217)）。

・中国語では“把”構文という他動性の強い構文を選択することにより、日本語に比べ無生物主語の成立を容易にしている（熊 (2009: 164)）。

・中国語では「動詞＋結果補語」の構文における前半の「動詞」の部分が原因事象を担うことができるため、**原因主語**の他動詞文が成立する（冷饭把肚子吃坏了。「*冷たいご飯がお腹を壊した」）（熊 (2009: 191-193)）。

・電化製品など、道具の**内在機能の自立性**が高ければ、日中両言語で無生物主語他動詞文が成立する（「マッサージ機がツボを押している」、按摩机正在按摩穴位。）（熊 (2009: 174)）。

・行為者が道具を制御していたにもかかわらず、行為者の**意図しなかった結果**が出てしまった場合、道具が対象に自ら働きかける力が意識され、中国語では無生物他動詞文が用いられる（鎌刀把他的手割伤了「?? 鎌が彼の手を切った」）（熊 (2009: 172-173)）。

・総記の解釈になる場合も道具主語は成立しやすい（**这种煤油暖炉**烘暖了房间。「**このオイルヒーターが**部屋を暖めた」）（熊 (2009: 176)）。

まとめると、他動詞の無生物主語が成立しやすい条件として、熊 (2009) は次のような要因を指摘している。

・背後に人間の存在が暗示されている名詞（人間の感情や性質、身体の部分、組織／機関）は無生物主語になりやすい。

・受動的、再帰的な文では、無生物主語が現れやすくなる。

・達成動詞による結果状態を示す場合、特に行為者の意図しなかった結果が出てしまった場合には、無生物主語が現れやすくなる。

・道具の内在機能の自立性が高ければ、無生物主語が現れやすくなる。

・総記の解釈になる場合、道具の無生物主語が現れやすくなる。

2. 無生物主語回避と有機的に関連する日本語の類型論的特性

2.1. 「暗示的主要部標示型」言語としての日本語

風間 (2015) では、日本語は一般に従属部標示型の言語とされているが、むしろ主要部標示型言語としての特徴を備えていることを指摘した。これは次のような観察と検討に基づいている。

・日本語の話しことばにおける実際を観察すると、主語や目的語が実際に出現する文は少なく、たとえ現れても無助詞であることが多い。実際にある映画のシナリオによって検討したところ、約2/3の文で主語の名詞項は現れなかった。主語項が現れた場合でも、その1/3弱は無助詞で現れた。しかも、ハの使用は対比もしくは恒常的／客観的事実の場合がほとんどであり、ガの使用は総記か、連体修飾節もしくは存現文におけるものがほとんどであった。したがって、少なくとも話しことばの日本語は、従属部標示型の言語とは言えない。

・他方、述語にはやりもらいの動詞や受身、テクルなどの「逆行」表示があり、モダリテ

ィの諸形式や感情述語など主語の人称に制約のあるものも多い。したがって主語の人称が述語の方でわかるようになっている場合も多く存在する。上記映画シナリオの分析によれば、全体のうち約 20%の述語は上記のような人称制約を有する述語であった。

日本語は動詞の人称変化を持たないので、明示的な主要部標示型言語ではない。しかし上記のような主要部標示的特徴も示している。以下ではこのようなタイプの言語を「暗示的主要部標示型」と呼ぶことにする。このような日本語の暗示的主要部標示型言語としての性質は、角田 (2009) のいう有生性方向制限とも大きく関わっているものと考えられる。すなわち、有生性方向制限があれば、主語項や目的語項が無かったり、無助詞であったりしても、その行為の方向はすでに定まっているので混乱が生じないのである。

ここでアジアの他の言語に目を向けてみると、朝鮮語やモンゴル語など、やはり主語項や目的語項を文中に示さなくとも良い言語があることに気が付く。中国語やインドネシア語のような SVO 言語であれば、語順により、動詞との前後関係で主語目的語が明確になる。しかし SOV 言語ではそうはいかない。これらの言語は明示的な対格があるが、朝鮮語では無助詞も多く、チュルク諸語、モンゴル諸語の対格は基本的に定の目的語でのみ現れる。したがって、日本語と同じように有生性方向制限を持っていることが考えられる。

2. 2. 日本語における自動詞・他動詞

英語や中国語のような言語と日本語を対照すると、英語や中国語で多くの動詞が自他同形であるのに対し、日本語には形態的に異なる自他動詞のペアが多く存在することが指摘されている（寺村 (1982: 305)）。さらに「日本語においては、古代語においても現代語においても他動化ペアが最も多い」ということが指摘されている（ナロック (2007)）。

日本語に有生性方向制限があるとなれば、有生性階層の上位の方、つまり有生物が主語の動詞には自動詞も他動詞もあるが、下位の方、つまり無生物が主語の動詞はもっぱら自動詞ばかりということになる。したがって自他の派生の方向においては、他動化が多くなるものと考えられる。

ヨーロッパの印欧諸語における他動詞は、transitive, すなわち他者へ行為が及ぶ、という点を基本としている。したがって再帰的な事態に対しては態の転換が必要となる。これに対し、日本語の他動詞は必ずしもこうした制限を持たないようだ。したがって再帰的な事態でも他動詞によって全く同じように表現できる（cf. 「私は手を洗った」など）。

日本語の動詞における本質的な対立は、三上章 (1953) の能動詞・所動詞（受け身の可不可による分類）にみられるように、意志動詞／無意志動詞の対立であると考えられ、他者へ行為が及ぶかどうか問題にしないものと考えられる。日本語では例えば存在の動詞でも、他の言語ではまれなイルとアルの対立があり、意志動詞と無意志動詞の別は徹底している。

表 1：日本語での主語に対する動詞の分布

1 人称＞2 人称＞3 人称＞親族名詞・固有名詞＞人間名詞＞動物名詞	＞無生物名詞
他動詞＋意志自動詞	無意志自動詞

（表の上段はシルバースティーンの名詞句階層で、本稿でいう行為の方向性における有生性階層でもある）

動詞の自他に関して、OV 言語においては、（有生物が主語の動詞で）他動化派生が大部分を占めると言われている（Nichols et al. (2004: 170)）。またこうした傾向は北アジアや北西・北東アメリカで好まれる特徴であり、これに対してヨーロッパの印欧諸語においては自動化が多いという（Nichols et al. (2004: 178)）。

本稿では、日本語をはじめとするアルタイ型の言語（亀井・河野・千野（編）(1996: 28-29, 1577)）において、自動詞／他動詞の別を問わず、意志動詞と無意志動詞がはっきりと分かれ、「本来的な意志動詞には無生物主語が現れない」という仮説の下に調査を行う。

3. 研究方法

なるべく語族や地域が偏らないように（日本語を含め）13 の言語を選び、19 の文について、話者に 4 段階の判断を問うた。

3.1. 調査対象の言語

本稿で調査した対象言語（カッコ内は系統）は、日本語（孤立語）、朝鮮語（孤立語）、モンゴル語ハルハ方言（モンゴル語族）、ナーナイ語（ツングース語族）、ウイグル語（チュルク語族）、中国語（シナ・チベット語族）、タイ語（タイ・カダイ語族）、インドネシア語（オーストロネシア語族）、アラビア語口語カイロ方言（アフロ・アジア語族）、ペルシャ語（印欧語族インド・イラン語派）、ロシア語（印欧語族スラブ語派）、スペイン語（印欧語族イタリック語派）、英語（印欧語族・ゲルマン語派）である。古典的類型論の観点から見ると、孤立型、膠着型、屈折型の言語のいずれをも含んでいる。しかし、新大陸やオセアニア、インド、アフリカの言語が調査できておらず、アジアでもウラル語族やオーストロアジア語族などをはじめとする言語や系統的に孤立した言語についても調査できていないので、通言語的な傾向を言うにはまだまだ不十分である。今後、さらにいくつかの言語のデータを拡充して行きたいと考えている。

3.2. 調査に用いた例文

対象とした例文は、付録（全言語）および 5 節の表 4（日本語のみ）に示した。例文は基本的に、日本語では不自然だが、英語では用いられるとされているような例文を英日辞典などより選び、作成した。2.2.節で立てた仮説を検討するため、他動詞文や使役文ばかりでなく、自動詞文も 3 つ（[13]「寝る」, [14]「立つ」, [15]「座る」）対象とした。

調査では、その文が言えるか言えないかを度外視して、まず調査例文（[1a][1b]～[19a][19b]の全て）を当該の言語に（無理矢理にでも）翻訳していただいた。その際には、話し言葉に関する調査であることを伝え、話し言葉の文体で訳していただいた。コンサルタントは、一部の方をのぞき日本語の良くできる方ばかりであったので、ナーナイ語の調査で媒介言語にロシア語を用いた以外は、基本的に日本語から翻訳していただいた。理解が難しい場合には、適宜英語の文も参考にしていただいた。

なお、実際に英語母語話者のコンサルタントに訊いてみると、英日辞典等に載っていた例文でも、少し不自然とされるものや、文学的、あるいは古い感じ（old-fasioned）がする、と判断されたものもあった。熊 (2009) を読んだのが調査の後だったので、その観点を踏ま

えて諸条件を十分に統制した調査例文を準備することはできなかった。調査例文の整備・改善も今後の課題である。

3.3. コンサルタントの情報

日本語のみ 4 名の話者より調査して、その平均値を求めた。なお、実際に調査してみると、日本語においても、やはり一般に不自然とされている無生物主語の文の判断が話者によって異なることがわかった。

表 2: コンサルタントの情報

言語	生年	出身地
日本語	1965, 1976, 1978, 1987	東京都、東京都、 長野県、北九州／横浜
朝鮮語	1978	慶尚北道’yəicən 郡’yucəmyən
モンゴル語ハルハ方言	1988	övörxangaj 県 xajrxandulaan 郡
ナーナイ語	1937	ハバロフスク州ナーナイ地区 Najkhin 村
ウイグル語	1991	カシュガルの疏勒（shu1le4）県
中国語	1988	黒竜江省ドゥルブットモンゴル自治県
タイ語	1994	バンコク
インドネシア語	1995	バンドン
アラビア語口語カイロ方言	1970	カイロ
ペルシャ語	1981	テヘラン
ロシア語	1990	ウラジオストック
スペイン語	1993	ブエノス・アイレス
英語	1973	エディンバラ

4. 定量的結果

まず用いた調査例文のうち、無生物主語のもの（a の方の文）の日本語訳のみを示す。

[1] **風が**ドアを開けた。／[2] **あのバスが**あなたを駅に連れて行く。／[3] **腹痛が**私を出かけさせなかった。／[4] **この本は**私に学生時代を思い出させる。／[5] **この薬が**あなたを治すだろう。／[6] **雲が**太陽を隠した。／[7] **ひどい雨が**私の子をずぶぬれにしてしまった。／[8] **その車は**私に 100 万円を使わせた。／[9] **大きな台風が**東京を襲った。／[10] **そのニュースは**私を驚かせた。／[11] **そのプレゼントは**あの人を喜ばせた。／[12] **息子のばかな質問は**私を怒らせた。／[13] 通りに**雪が**寝ていた。／[14] **ステッキが**あそこに立っていた。／[15] **その家は**丘の上に座っている。／[16] **その標識は**「危険」だと言う。／[17] **彼女の顔は**その悲しみを語っていた。／[18] **何が**おまえをそんな風に考えさせるのか？／[19] **そのカギが**ドアを開けた。

これらを各言語に（無理にでも）訳していただいた文について、話し言葉のレベルにおける判断であることを確認しつつ、①「全然ダメ、聞いたこともないし、言えそうにない」を 3、②「かなり不自然、言えるかもしれないが聞かない」を 2、③「少し不自然、自分は

言わないが聞くことはある」を 1、④「自然／自分も言うし、聞く」を 0、として判断をしていただいた。以下にみる表 3 では、この判定結果のうち各調査例文の a の方（無生物主語の方の文）のみのデータを整理・集計した。対応する b の方の文は、有生物主語にしたり無生物を原因にすることによって日本語においてより自然に使われるタイプの文に変えたものである。、各言語の例は a b ともに付録を参照されたい（なお上記の判断は下記および付録では①＝*, ②＝??, ③＝?, ④＝無標示で示している）。表 3 では、合計点の高かった調査例文から順に上から並べ、言語もやはり合計点の高いものから順に左から並べてある。したがって、左の方の言語ほど無生物主語を許容しない、上の方の表現ほど無生物主語を許容しない、ということになる。

[ ]内は調査例文の番号であり（付録を参照）、言語名の略号は次の通りである：K(orean), N(anai), M(ongolian Khalkha dialect), U(igur), C(hinese), T(hai), I(ndonesian), A(rabic (collquial) Cairo dialect), P(ersian), R(ussian), S(panish), E(nglish)。

表 3: 無生物主語の適格性の判定結果

	J	K	I	M	T	S	C	N	U	E	R	P	A	計
[15]	3.0	3	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	37.0
[13]	3.0	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	27.0
[14]	2.8	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	3	3	26.8
[19]	2.3	1	3	3	3	2	3	3	2	1	2	0	0	25.3
[3]	2.5	3	3	3	1	3	3	0	1	0	2	0	0	21.5
[17]	1.5	1	2	3	1	2	1	3	0	1	0	1	0	16.5
[16]	2.0	2	2	3	0	0	3	3	2	0	0	0	0	17.0
[7]	2.5	2	0	2	0	3	0	0	0	3	2	0	0	14.5
[5]	2.3	1	3	0	2	2	1	0	2	1	0	0	0	14.3
[1]	1.8	2	3	0	3	1	0	0	0	1	2	0	0	13.8
[2]	2.5	2	2	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	12.5
[8]	2.5	3	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	10.5
[9]	0.0	0	2	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	7.0
[18]	1.3	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	6.3
[11]	1.0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	5.0
[6]	0.5	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	4.5
[10]	0.8	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3.8
[12]	1.3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
[4]	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0
計	34.6	30	30	25	25	25	24	21	15	13	11	7	7	

5. 表現間の差異

以下では定性的な分析を行う。まず表現間の違いについてみる。すなわち、通言語的に

無生物主語を許容しやすい表現と、許容しにくい表現があるのか、あるとすればそれはどのような要因か、という問題である。

下記の表 4 を見ると、日本語の示す数値と、全言語が示す数値は、表現間でかなり連動していることがわかる。したがって、日本語だけが例外的に無生物主語を嫌っているわけではなく、日本語を含め通言語的に無生物主語を許容しやすい／しにくい要因が存在するものと思われる。結論を先に言うならば、ここには動詞の他動性が最も大きく関与している。次に、主語における道具としての性格、および主語の無生物の背後に意志的な人間の関与があるかどうか、という点も関与していると考えられる。

5.1. 動詞

動詞に関しては、無生物主語が**直接的**に行為の主体となるもの、有生物の行為／状態の変化が内に含まれるような広い意味で使役的な**間接的**事象の 2 つに分けた。その上で、角田 (2009) の二項述語階層を参考に、直接行為および間接の内在的な行為を分類した。その結果が表 4 に示したものである。なお二項述語階層は表 5 に示す。

表 4: 表現間の差異

	動詞		有	主語				日本語	全言語
	直接	間接		道具	抽象	自然	関与		
[15] **その家は**丘の上に座っている。	/	/	/	/	/	/	/	3.0	37.0
[13] 通りに**雪が**寝ていた。	/	/	/	/	/	/	/	3.0	27.0
[14] **ステッキが**あそこに立っていた。	/	/	/	/	/	/	/	2.8	26.8
[19] **そのカギが**ドアを開けた。	変	/	−	＋	−	−	−	2.3	25.3
[3] **腹痛が**私を出かけさせなかった。	/	移	＋	−	＋	−	−	2.5	21.5
[16] **その標識は**「危険」だと言う。	言	/	/	−	−	−	−	2.0	17.0
[17] **彼女の顔は**その悲しみを語っていた。	言	/	−	−	−	−	−	1.5	16.5
[7] **ひどい雨が**私の子をずぶぬれにしてしまった。	変	/	＋	−	−	＋	−	2.5	14.5
[5] **この薬が**あなたを治すだろう。	変	/	＋	＋	−	−	−	2.3	14.3
[1] **風が**ドアを開けた。	変	/	−	−	−	＋	−	1.8	13.8
[2] **あのバスが**あなたを駅に連れて行く。	/	移	＋	＋	−	−	−	2.5	12.5
[8] **その車は**私に 100 万円を使わせた。	/	追	＋	−	−	−	−	2.5	10.5
[9] **大きな台風が**東京を襲った。	無	/	−	−	−	＋	−	0.0	7.0
[18] **何が**おまえをそんな風に考えさせるのか？	/	知	＋	−	＋	−	−	1.3	6.3
[11] **そのプレゼントは**あの人を喜ばせた。	/	感	＋	−	−	−	＋	1.0	5.0
[6] **雲が**太陽を隠した。	無	/	−	−	−	＋	−	0.5	4.5
[10] **そのニュースは**私を驚かせた。	/	感	＋	−	＋	−	＋	0.8	3.8
[12] **息子のばかな質問は**私を怒らせた。	/	感	＋	−	＋	−	＋	1.3	3.3
[4] **この本は**私に学生時代を思い出させる。	/	知	＋	−	−	−	−	1.0	1.0

（略号は、有（生性階層）、自然（力）、（人間の）関与）、（直接影響）変（化）、言（語活動）、（直接影響）無（変化）、移（動）、追（及）、知（覚）、感（情）である。 / は無関係であることを示す。有生性階層の列における＋－については、5.2.節を参照されたい）

表 5: 二項述語階層（角田 (2009: 101, 一部省略)）

類	1		2		3	4	5	6	7
意味	直接影響		知覚		追求	知識	感情	関係	能力
下位類	1A	1B	2A	2B					
意味	変化	無変化							
例	殺す、壊す、温める	叩く、蹴る、etc.	see, hear, etc.	look, listen	待つ、捜す	知る、わかる、覚える、etc.	愛す、惚れる、好き、etc.	持つ、ある、似る、etc.	できる、得意、強い、etc.t

以下では、表 4 の左側から順に要因を検討する。

表 4 に明らかなように、直接行為の「1A 直接影響変化」([19], [7], [5], [1]）では、無生物主語は成立しにくい。これは熊 (2009) の日本語における指摘と一致する。他方、使役的な間接的述語において内在する人間の行為が「4 知識」([18], [4])、「5 感情」([10], [11], [12]）である場合、無生物主語は成立しやすい。これらの表現において、無生物主語は人間に「4 知識」や「5 感情」を起こさせる積極的な役割を担っており、人間の方は逆に受動的な役割を担っている。これはやはり「受動的な文」において無生物主語が成立しやすいとした熊 (2009) の指摘と一致する。角田 (2009) の二項述語階層では、右に行くほどその言語における非典型的な格枠組みが現れ、その中間部に位置する「4 知識」、「5 感情」などの述語では、格枠組みのゆれが観察される（例えば日本語で「彼**に**分数**が**わかる」、「彼**が**分数**を**わかっている」などのように)。今回の調査においても、[18], [11], [10], [12], [4]など、知識や感情の使役的述語では、その文脈において何をテーマにして話しているかによって、[a]と[b]のどちらの構文を用いてもほとんど差が無い、とする回答が（特にヨーロッパや西アジアの言語において）目立って多かった。

5.1.1. 立ち居振る舞いの自動詞

ここでいう立ち居振る舞いの自動詞とは、[13]～[15]の「寝る」、「立つ」、「座る」である。これらの動詞は、基本的に東アジアの言語では有生物の動作であって、無生物主語を許容しない。ただしナーナイ語とウイグル語の「立つ」は例外的で、特にウイグル語の tur-「立つ」は存在動詞として広く用いられる。これに対し、ペルシャ語や英語では「横になる」、英語では「座る」も無生物主語を許容する。ただし、The house sits on a hill. は、小稲他（編）(1985) にあった文だが、話者によれば古めかしい表現であるという。

通言語的に、これらの動詞が無生物主語をとることはかなりまれで、特に「座る」は英語でわずかに許容されるだけだった。物体によっては、「横になっている」もしくは「立っている」状態で存在していることを伝達することに重要な意味があり、そのためにこれら

の動詞による表現が使われるのだろう。他方、「座っている」状態は無生物の存在する状況の比喩には使われにくいものと考えられる。無生物主語の存在は、その状態を問わず、単に存在動詞で示されるのが一般的であるようだ。したがって、少なくとも今回の調査からでは、日本語やアルタイ型言語においては（ヨーロッパの印欧語族の言語 (SAE: Standard Average European) に比べ)、自他を問わず本来的な意志動詞に無生物主語が現れない、という 2.2.で立てた仮説を立証することはできなかった。ただしデータは十分なものとは言えないので、今後もさらに検討が必要であると考えている。

5.1.2. 直接的行為における言語活動の動詞

[16]〜[17]の「言う」、「語る」の意の動詞である。これらの動詞でも東アジアの諸言語で無生物主語が基本的に許容されないのに対して（例外はタイ語の「言う」のみ)、アラビア語と印欧語族の言語は多くこれを許容する。特に「言う」に関しては上記の全言語が許容している。この分野の動詞のデータに関しては、2.2.の仮説をある程度支持しているものとみることができる。

5.1.3. 間接的行為における知識・感情に関する他動詞

[4], [18]の知識に関する動詞、および[10], [11], [12]の感情に関する動詞である。表 4 に示したように、これらは他動詞の中でも通言語的に無生物主語をもっとも許容しやすいもののようである。日本語の他に、タイ語および朝鮮語でやや不自然（③: ?）となっているが、どちらの言語でも、英語からの直訳という感じを受けるというコンサルタントの感想があった。

このタイプの述語の場合、東アジアの言語では、人間を主語とする文が無標の能動態によって形成され、無生物を主語とする文が有標の使役態によって形成される場合が多くあるのに対し、印欧語では無生物主語の文の方が無標の能動態で、人間を主語とする文の方に受動態をはじめとする何らかの有標の態が現れる。この点については 6.2.節で取り上げて検討する。

5.2. 有生性階層

熊 (2009) は次のような無生物名詞句内部の階層を提案した：「自然力名詞・組織・機関名詞＞他現象名詞・具体名詞＞抽象名詞」。

ここではこの階層にさらに人間を加え、次のような階層を立てた：「人間＞自然力＞具体名詞＞抽象名詞」。

表 4 ではこの階層に沿っていればー、逆行していれば＋を記した。

今回の調査例文には、抽象名詞や具体名詞、自然力が人間に対して働きかける例、すなわち上記の階層で右から左へ動作が行われる例が多い（12 例)。他方、無生物から無生物に動作が及ぶ例も若干ある（4 例: [19], [1], [9], [6]）。しかし、表 4 に見るように通言語的にはその方向性によって無生物主語の許容度に顕著な違いは認められない。したがって、少なくとも今回の調査例文の範囲内において、角田 (2009) や熊 (2009) のいう有生性階層は、

通言語的には大きな要因となっていないようだ。

他方、日本語の数値には影響が現れている。[1]「**風が**ドアを開けた。」、[9]「**大きな台風が**東京を襲った。」、[6]「**雲が**太陽を隠した。」の 3 例の日本語の数値は、1.8, 0.0, 1.0 と他言語の合計と見比べてかなり低い値を示している。したがって日本語においては、他言語よりも有生性方向制限が強く働いているものと考えられる。

5.3. 主語

5.3.1. 道具

もっとも典型的な道具主語の文[19]「そのカギがドアを開けた」を完全に許容するのは、アラビア語、ペルシャ語のみである。道具主語の例（[19], [5], [2]）はいずれも表 4 で上位に位置しており、通言語的にみて他動詞の無生物主語にはもっともなりにくいものと思われる（バスは交通手段とみて、広い意味の道具と見なした）。どの言語も道具を示す何らかの表現手段は備えているとみるならば、わざわざこれを主語として表現するのは、まさしくその道具こそがその行為を引き起こすといった焦点の状況（熊 (2009) のいう総記）でない限り一般的ではないということであろう。

5.3.2. 抽象名詞

抽象名詞であるか、具体名詞であるかの違いは今回の調査では特に結果に影響を与えなかった。むしろ抽象名詞の無生物主語は許容されやすい例文に多く現れているが（[18], [10], [12]）、これは後述する他動性によって説明される。

5.3.3. 自然力名詞

自然力の名詞であるか否かも、今回の調査では特に結果に大きな影響を示さなかった。ただ上記「5.2. 有生性階層」の項でとりあげた日本語の数値に影響を与えた 3 つの文はいずれも自然力名詞が主語であった。無生物主語を許容しない傾向の強いインドネシア語、モンゴル語、タイ語においても、[7]雨（I, T）、[9]台風（M, T）、[6]雲（I, M）においては完全に許容されている。したがって自然力名詞はこれらの言語においても無生物主語として許容されやすいと言える。

5.3.4. 無生物の背後における意志的な人間の関与

[12]「**息子のばかな質問は**私を怒らせた。」、[10]「**そのニュースは**私を驚かせた。」、[11]「**そのプレゼントは**あの人を喜ばせた。」の 3 つの例文は、息子や、ニュースを伝えた人間、プレゼントをくれた人など、無生物の背後に意志的な人間が関与している。この 3 例は表 4 でいずれも下位に位置しており、無生物主語が許容される要因になっているものと考えられる。

6. 言語間の差異

次に言語間の差異についてみる。

表 6: 言語間の差異

	日本	朝鮮	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	ﾓﾝｺﾞﾙ	ﾀｲ	ｽﾍﾟｲﾝ	中国	ﾅｰﾅｲ	ｳｲｸﾞﾙ	英	ﾛｼｱ	ﾍﾟﾙｼｬ	ｱﾗﾋﾞｱ
全	34.6	30	30	25	25	25	24	21	15	13	11	7	7
他動詞	25.8	21	21	16	16	16	15	15	9	12	8	1	1
人称	－	－	－	－	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋
性	－	－	－	－	－	＋	－	－	－	－	＋	－	＋

（他動詞の行は、自動詞文（[13], [14], [15]）を除いた合計である）

少なくとも考察した例文の範囲内では、日本語がもっとも無生物主語を嫌う言語であることが分かる。朝鮮語とインドネシア語がこれに次ぐ。これに対し、アラビア語とペルシャ語は無生物主語に対してきわめて寛容であることが分かる。他動詞文に限って見れば、ほとんどどんな文であっても無生物主語を許容すると言っても過言ではない。SAE は比較的に無生物主語を許容するが、スペイン語では高い数値が出ている。

このような違いは何に起因するものであろうか？ 以下では動詞における人称標示、文法性、態の変換の類型（他動化・使役化型 vs 自動化・反使役化型）、の 3 点について考察を加える。

6.1. 動詞における人称標示と文法性

動詞に人称変化があれば、視点の転換はより容易であると考えられる。日本語のように、動詞の人称変化もなく、主語項や目的語項が現れないことも多い言語では有生性方向制限があり、人間特に話し手の視点に立つ必要性は高いものと考えられる（つまり暗示型の主要部標示が必要とされることになる、2.1.節参照）。スペイン語の数値が高い点は問題だが、動詞に人称変化を持つ言語は表 6 で右の方に偏っていることが分かる。表 6 で左側に位置する言語は、どれもいわゆる pro-drop の言語であり、動詞に人称変化がないばかりでなく、主語項の存在も任意である。

次に、文法カテゴリーとしての性の存在も関連があると考える。例えばロシア語であれば、人間であろうと無生物であろうと、男性名詞であれば人称代名詞 on、女性名詞であれば ona、中性名詞であれば ono で前方照応する。アラビア語やスペイン語にも同じことが言える。これに対し日本語では、生物・無生物共に「そいつ」で前方照応することもできるが、より丁寧な言い方では、「その人」と「それ」を区別しなければならない。ここでもスペイン語の位置は問題だが、アラビア語とロシア語は表 6 の右に位置していることが分かる。

6.2. 態の変換（使役化・他動化型 vs 反使役化／受動化・自動化型）

2.2.節で無生物主語の可否と自他対応および態の変化の関連についての理論的な背景を考察した。これを踏まえてここでは今回の調査例文における自他対応や態の変換を分析してみることにする。

各言語においては、次のような形式を使役化・他動化型（以下では［使（役）］）もしくは反使役化／受動化・自動化型（以下では［受（動）］）として扱った。なお異なった自動詞／他動詞のペアを用いていて方向が決め難いもの、同形の動詞を使用するものなどは両極化・同形型（以下では［両（極）］）とした。なお朝鮮語やモンゴル語ハルハ方言には同形で使役にも受動にも使われる形式があることに注意されたい。筆者の各言語についての理解不足から十分な分析とはなっていないことが危惧されるが、言語間の違いの全体的傾向を把握するには十分であると考える。

日本語：［使］-(s)ase-[3, 4, 8, 10, 11, 12, 18]、［両］自他対応[1, 9], 「する」と「なる」[7]、［受］-(r)are-[9]；

朝鮮語：［使］-gəi ha-[4, 7, 8, 10, 11, 12, 18]、-i-/-hi-/-ri-/-gi-/-’u-/-gu-/-cu-[1, 19]、［受］-i/-hi/-ri/-gi/-’u/-gu/-cu[1], -əji-da[9]；

ナーナイ語：［使］-wAA[2]n-[3, 4, 7, 8, 10, 11, 12, 18]、［両］、［受］-p[1, 19], 形動詞+対格 baa-[9]；

モンゴル語ハルハ方言：［使］-UUl-/-g-[1, 4, 8, 10, 11, 18, 19], 他動化[3, 7, 12]、［受］-UUl-/-g-[9]；

ウイグル語：［使］-dUr-/tUr etc.[4, 5, 10, 12], sal-「陥れる」[8, 18], 他動詞化[3]、［両］qil- vs. bol-（「する」と「なる」）[7, 11]、［受］-Il/-In etc.[1, 19]；

中国語：［使］“把”構文[1, 7, 19], 让[3, 4, 10, 11, 12, 18]、［両］同形[8]、［受］被[9]；

タイ語：［使］tham hây[3, 4, 7, 8, 10, 11, 12, 18]、［両］[1, 19]、［受］doon[9]；

インドネシア語 :［使］buat (to make) [3, 7, 8, 10, 11, 12, 18, 19]、［両］me-STEM(-kan) vs. ter-[1, 4]、［受］di-[9]；

アラビア語 :［使］manaʕ (to prevent ~ from ~ing)[3], xalla (to make)[8], yuxalla (to cause/allow)、［両］[4, 8, 18]、［受］VII 形：inFaʕaL 型（自動詞接辞付加型動詞）[1, 9, 10, 11, 19], ʔit-（受動化）[7, 12]；

ペルシャ語：［使］gozāštan（許可使役）[3]、［両］kardan vs. šodan（「する」と「なる」）[1, 7, 9, 10, 11, 12, 19], その他[4, 8, 18]；

ロシア語：［使］дать「与える」[3], заставить 強制使役[18]、［両］自他対応[4, 7]、その他[8, 19]［受］-ся 動詞[1, 10, 11, 12], быть+被動形動詞[9]；

スペイン語：［使］dejó[3], hace[4, 18]、［両］[8, 19]、［受］再帰代名詞 se による非人称受動[1, 7, 11, 12], ser/estar (copula)+過去分詞[9, 10]；

英語：［使］keep ~ from ~ing[3], make[18]、［両］自他対応[4], make vs. get[7]、同形[8]［受］be+過去分詞[1, 9, 10, 11, 12, 19]

結果を表に整理すると以下のようである。表中のアルファベットは各言語名の略称である。ただし実際に使われない文に対しては検討が必要であると考え、使役と受動に関しては話者の判断（OK（無標示）~ ? ~ ?? ~ *）も示した。

[2] 大文字は母音調和による異形態があることを示す。

表 7: 各言語が使用していた態の変換の種類

	[1]	[3]	[4]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]	[18]	[19]
使役	MC	J K* N M* U? C* T I* A P R* S* E	J K N M U C T S	K? N M?? C T I	J K* N M U T I?		J K? N M U C T I	J K? N M C T I	J K? N M U C T I	J K N M U C T I R S* E	MC
両極	J T I P		I A P R E	J U P R E	C P R S E A	U	P	U P	P	A P	J T I P R S
受動	K N U A? R S?? E			A S		J K* N M C* T I A?? P? R?? S E	A R S* E	A R S E	A R S E		K N U A E

特に[10], [11], [12]（感情を示す文）に顕著であるが、使役化・他動化型を使用する日本語のような言語と、反使役化／受動化・自動化型を使用する言語の 2 つにかなりはっきりと分かれることが分かる。

もっぱら使役化・他動化型を使用する言語である日本語、朝鮮語、ナーナイ語、モンゴル語ハルハ方言、ウイグル語、タイ語、インドネシア語は、どれも無生物主語を嫌う言語である。もっぱら反使役化／受動化・自動化型を使用しているアラビア語、ロシア語、英語は比較的もしくはかなり無生物主語を許容する言語である（ただしスペイン語は無生物主語をあまり許容しない）。この結果は 2.2 節で立てた仮説に合致している。

上記の 2 つのグループに対し、（kardan vs. šodan（「する」と「なる」）による）両極化を多用するのがペルシャ語である。これももし kardan （「する」）を default と見れば反使役化／受動化・自動化型ということになる。中国語については、“把”構文を使役化・他動化型の表現形式とみたため（熊 (2009) は“把”構文を他動性の高い表現としていたことによる、1.2. 節参照）、使役化・他動化型のタイプに見えるが、この点に関してはさらに今後の検討を要する。

さて、こうした 2 つのグループの違いは、さらに何によって生じたものであろうか？ ペルシャ語ではかなり変容しているものの、ギリシャ語やラテン語を見る限り、中動・受動化が支配的であるのは印欧語族においてかなり伝統的に受け継がれてきた特徴であると考えられる。しかし東アジアの使役化・他動化型の性格を示す言語群の系統はバラバラである。では東アジア対ヨーロッパ・アフリカ・西アジアの地域的対立とみるべきだろうか？ それとも類型論的なタイプの違いと見るべきであろうか？ 風間 (2014: 169) で述べたように、類型か地域かの判断は難しいが、もし東アジア以外の地域で、使役化・他動化型でありかつ無生物主語を嫌う言語があれば、これは類型論的なタイプと考えることができよう。ヨーロッパ・アフリカ・西アジア以外の地域に反使役化／受動化・自動化型で無生物主語をよく許容する言語があっても同様である。

タイ語において自動詞と他動詞の対立は本質的なものではなく、タイ語の言語事実に即した動詞分類の基準となるのは、意志／無意志の対立であるという（坂本 (1985), 峰岸 (2007)）。これは受身になるかならないかで動詞を分類した三上章の能動詞と所動詞の別が、

実質的に意志動詞と無意志動詞の対立になっていることを想起させる。中国語やタイ語の受身がもっぱら迷惑や被害にのみ使われることは日本語とよく似ているが、これは主題の転換に広く受身を用いる英語などの印欧語と大きく異なっている点である。他方日本語や朝鮮語には主題標示の専用の形式が存在している。したがって上記の 2 つの言語グループの違いは、態の転換と共に、情報構造の表示に対して各言語が用いるストラテジーとも大きく関わっていることが予想される。この点についての解明を進めることも今後の課題である。

7. まとめと今後の課題

今回使用した 19 の例文による調査の範囲内から明らかになったのは以下のような点である。

・無生物主語が**直接**行為の主体となり、しかも対象物の変化という影響のある動作では、通言語的に無生物主語が許容されにくい。他方、行為が**間接**的で、無生物主語が対象となる人間の知識の獲得や感情を引き起こす原因である場合には、無生物主語が許容されやすい。これらは他動性の要因としてまとめることができる。
・無生物主語の名詞の性質に注目すると、（特に一部の言語で）道具は無生物主語になりにくいのに対し、背後における意志的な人間の関与のある無生物主語は許容されやすい。このことは（完全には重ならないものの）動詞における上記の直接／間接の違いを主語の名詞の側から捉えたものとみることもできよう。
・日本語はもっとも無生物主語を嫌う言語である。朝鮮語とインドネシア語がこれに次ぎ、東アジアの言語は総じて無生物主語を許容しない傾向を示す。これに対し、アラビア語とペルシャ語は無生物主語に対してきわめて寛容で、ヨーロッパの印欧語族の言語もある程度無生物主語を許容する傾向を示す。こうした違いの原因としては、動詞における人称標示の有無、暗示型主要部標示、文法性の有無、各言語の態の変換システム、などが考えられる。特に態の変換の方向性は、他の特徴と有機的関連を持つ有効な言語の類型的な指標であると思われる。

今後の課題は多々あるが、本文中に述べた点についてはここでさらに繰り返さない。もう一つ大きな問題点をあげるとすれば、今回の調査はもっぱら調査例文による演繹的な調査であったことである。したがって判断には個人差のあった可能性も考えられる。これに対しては各言語について数人に聞いて精度をあげるという方法が 1 つ考えられる。他方、翻訳によるパラレルコーパスなどを用いて、帰納的にデータを収集し分析するという方法も考えられよう。

［謝辞］
時間を割いて、丁寧に調査例文の翻訳および適格性の判断につきあって下さったコンサルタントの方々に深くお礼申し上げたい。丁寧に査読して下さり、貴重なコメントを下さ

った査読の先生方にも記して心よりお礼申し述べたい。

参考文献

Craig, C. G. (1976) Properties of basic and derived subjects in Jacaltec. In Li 1976: 99-123.

風間伸次郎 (2014) 「日本語の類型について ―「アルタイ型言語」の解明を目指して―」『北方言語研究』4. 157-171. 北海道大学大学院文学研究科.

風間伸次郎 (2015) 「日本語（話しことば）は従属部標示型の言語なのか？」『国立国語研究所論集』9. 51-80.

亀井孝・河野六郎・千野栄一（編著）(1996)『言語学大辞典 第 6 巻 術語編』東京：三省堂

Klaiman, M. H. (1988) Affectedness and control: a typology of voice systems. Shibatani, M. (ed.) *Passive and voice*. Typological Studies in Language 16. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.

小稲義男・山川喜久雄・竹林滋・吉川道夫（編） (1985) 『新英和中辞典 第 5 版』東京：研究社

河野六郎 (1947) 「朝鮮語ノ羅馬字轉寫案」『Tôyôgo Kenkyû』2, 河野 (1979) 所収. 96-97.

河野六郎 (1979) 『河野六郎著作集 I』東京：平凡社

Li, C. N. (ed.) (1976) *Subject and topic*. New York: Academic Press.

三上章 (1953) 『現代語法序説』東京：刀江書院

峰岸真琴 (2007) 「孤立語の他動詞性と随意性」角田三枝・佐々木冠・塩谷亨（編）『他動性の通言語的研究』205-216. 東京：くろしお出版.

ナロック・ハイコ (2007) 「日本語自他動詞対の類型論的位置づけ」『レキシコンフォーラム』3. 161-193. 東京：ひつじ書房

Nichols, J., D. A. Peterson and J. Barnes (2004) Transitivizing and detransitivizing languages. *Linguistic Typology* 8. 149-211.

大倉直子 (2004) 「所有関係構文と派生的意味解釈」『言語科学研究』10. 41-65. 神田外語大学大学院紀要

坂本比奈子 (1985) 「タイ語の動詞の下位分類について」『アジア・アフリカ言語文化研究』30. 177-192.

寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味 I』東京：くろしお出版

角田太作 (2009) [初版 1991] 『世界の言語と日本語 言語類型論から見た日本語』東京：くろしお出版

梅谷博之 (2008) 『モンゴル語の使役接辞 -UUL と受身接辞 -GD の構文』博士論文. 東京大学

Vendler, Zeno (1967) *Linguistics in philosophy*. Ithaca, New York: Cornell University Press.

熊 鶯 (2009) 『鍵がドアをあけた ―日本語の無生物主語他動詞文へのアプローチ』東京：笠間書院

【付録】: 無生物主語に関する調査例文（questionnaire）と各言語訳

・表の左欄における文（a の文）の無生物主語は太字で示した。全言語の全文についてグロスをつけるのが理想だが、紙面の都合と筆者の力量不足から果たせなかった。
・中国語、インドネシア語、ロシア語、スペイン語、英語は各言語の正書法による。モンゴル語のキリル文字からの転字は梅谷 (2008) に倣った。ナーナイ語、ウイグル語、タイ語、アラビア語、ペルシャ語はラテン文字ベースの音素表記もしくは正書法からの転字である。朝鮮語のハングルからの転字は河野 (1947) の方式による。
・固有名詞や表現等が元の調査例文の日本語と若干異なる場合は、《 》内に注記した。コンサルタントのコメント、特により自然な表現についてもやはり《 》内に記した。

[J 1a] **風が**ドアを開けた。	[J 1b] 風でドアが開いた。
[K 1a] ?? **baram**'i mun'ɯr 'yər'əssda.	[K 1b] baram'i bur'əsə mun'i 'yərriəssda. 《風が吹いて》
[N 1a] **xədun** uikəwə nixəlixəni.	[N 1b] xədundu uikə nixəlikpini.
[M 1a] **salxi** xaalga ongojlgoson.	[M 1b] salxi salxilaad xaalga ongojson. 《風が吹いて》
[U 1a] **šamal** išikni ečiwætti.	[U 1b] šamalda išik ečilip kætti.
[C 1a] 风把门吹开了。《"把"構文でなければ不自然：?? 风吹开了门。》	[C 1b] ? 因为刮风门开了。
[T 1a]* **lom** pə̀ət pratuu	[T 1b] (phrɔ́ʔ) lom phát pratuu cɯŋ pə̀ət
[I 1a]* **Angin** membuka pintu.	[I 1b] Pintu terbuka oleh angin.
[A 1a] **il-hawaa** fataħ il-baab	[A 1b] ? il-baab infataħ min il-hawaa.《「ドアはなぜ開いたか」という質問の答えとしてなら可能》
[P 1a] **bād** dar rā bāz kard.	[P 1b] dar be-vasileye bād bāz šod.
[R 1a]?? **Ветер** открыл дверь.	[R 1b] Дверь открылась от ветра.《自然な表現：Дверь распахнулась от ветра.》
[S 1a]? **El viento** abrió la puerta.	[S 1b]?? La puerta se abrió por (efecto d)el viento.《自然な表現 : Sopló el viento y la puerta se abrió》
[E 1a]? **The wind** opened the door.	[E 1b] The door was opened by the wind.

[J 2a] **あのバスが**あなたを駅に連れて行く。	[J 2b] あのバスなら駅に行く。／あのバスに乗れば駅に着く。
[K 2a] ?? **jə bəsɯ**ga nərɯr 'yəgggaji dəirigo ganda.	[K 2b] jə bəsɯnɯn 'yəgggaji ganda.
[N 2a] **təi awtobus** simbiə vokzalči olbindiini.	[N 2b] təi awtobusaǰi sii vokzalči ənəmi mutəisi.

	《より自然な文：təi awtobusado təərəə/təəpi, sii vokzalči ənəmi/isimi mutəisi.「そのバスに乗ればおまえは駅へ行ける」もしくは təi awtobus vokzalči ənəini/isiini.「そのバスは駅に行く/着く」》
[M 2a]?? **ter avtobus** čamaig buudal ruu hürgež өgnө.	[M 2b] ter avtobus buudal ruu yavna.
[U 2a] ? **awu abtubus** sizni bikætkæ elip baridu.	[U 2b] awu abtubusqa čiqsiŋiz bikætkæ baralaysiz.
[C 2a]?? **那辆公共汽车**会带你到车站。	[C 2b] 你坐那辆公共汽车就可以到你要去的车站。/ 那辆公共汽车到你要去的车站。
[T 2a]? **bàt khan nán** càʔ phaa pay thŭŋ sathăanii	[T 2b] thâa khun khûn rót bàt khan nán khun càʔ pay thŭŋ sathăanii dây
[I 2a]?? **Bus itu** akan membawa anda ke stasiun.	[I 2b] Kalau menaiki bus itu akan sampai ke stasiun.
[A 2a] **il-ʔutubiis da** ħa-yaaxud-ka li-l-maħatˤtˤa.	[A 2b] il-ʔutubiis da bi-yruuħ l-maħatˤtˤa.
[P 2a] **ān otobus** šomā rā be istgāh mibarad.	[P 2b] šomā be-vasileye ān otobus mitavānid be istgāh beravid.
[R 2a] **Этот автобус** отвезет тебя к станции.	[R 2b] Ты можешь доехать до станции на этом автобусе. / На этом автобусе можно доехать до станции.
[S 2a] **El autobús** te lleva a la estación.	[S 2b] El autobús va a la estación.
[E 2a] **The bus** will take you to the station.	[E 2b] The bus goes to the station.

[J 3a] **腹痛が**私を出かけさせなかった。	[J 3b] お腹が痛くて私は出かけられなかった。
[K 3a] * **bogtoŋ**i narɯr bagg'ei mos nagagei haissda.	[K 3b] baiga 'apasə jənɯn 'oicur har su əbs'əssswbnida.
[N 3a] **xəmduji ənuuni** mimbiə ənəwəəndəčini.	[N 3b] xəmduji ənuiduəni, mii (ǰoogǰiaǰiaji) niəəčiiji.《お腹が痛い時家から出なかった》
[M 3a]* **gedesnii өvdөlt** namajg gadagš gargaagüj. 《gedes өvdөөd namajg gadagš gargaaguj.「お腹が痛んで私を外へ出させない」ならよい》	[M 3b] gedes өvdsөn učraas garč čadaagüj.
[U 3a] ? **qosaq aʁriqi** meni sirtqa čiqarmidi.	[U 3b] qosqum aʁrip sirtqa čiqalmidim.
[C 3a]* **肚子疼**让我不能出门。	[C 3b] 因为我肚子疼，所以没能出门。
[T 3a]? **ʔaakaan pùat thɔ́ɔŋ** tham hây chăn	[T 3b] (phrɔ́ʔ) pùat thɔ́ɔŋ chăn cɯŋ mây dây

mây dây ʔɔ̀ɔk càak bâan	ʔɔ̀ɔk càak bâan
[I 3a]* **Sakit perut** membuat saya tidak bisa pergi keluar.	[I 3b] Saya tidak bisa pergi keluar karena perut saya sakit.
[A 3a] **il-maɣasˤ** manʕ-ni min il-xuruug.	[A 3b] batˤan-i kaanat b-tiwgaʕ-ni ʕaʃaan kedaa m-aqdar-ʃ ʔaxrug.
[P 3a] **deldard** nagozāšt ke man birun beravam.	[P 3b] delam dard mikard va natavānestam birun beravam.
[R 3a]?? **Боль в животе** не давала мне выйти из дома.	[R 3b] Я не мог выйти из дома, потому что у меня болел живот.《ただし、可能表現が使えるのはよほど痛い状況でのみ》
[S 3a]* **El dolor de estómago** no me dejó salir.	[S 3b] Como me dolía el estomago no pude salir.
[E 3a] **A stomachache** kept me from going out.	[E 3b] I couldn't go out because I had a stomachache.

[J 4a] **この本は**私に学生時代を思い出させる。	[J 4b] この本を見ると私は学生時代を思い出す。
[K 4a] **'i caig**'ɯn jə'əigəi hagsaiŋsijər'ɯr ddə'urrigəi habnida.	[K 4b] 'i caig'ɯr bomyən jənɯn hagsaiŋsijər'ɯr ddə'urribnida.
[N 4a] **əi daŋsa** mimbiə shkolačijijə pulsixəmbiəwə ǰooŋgowaandiini.	[N 4b] əi daŋsawa ičəpi, mii shkolačiji pulsixəmbiəwə ǰooŋgoiji.
[M 4a] **ene nom** nadad ojutan cagyg min' sanagduuldag.	[M 4b] ene nomyg xaraxaar ojutan cagaa dursdag.
[U 4a] **bu kitab** maŋa mæktæptiki čaʁlirimni æslitidu.	[U 4b] bu kitabni köræm mæktæptiki čaʁlirim esimgæ kelidu.《私の心に来る》
[C 4a] **这本书**让我想起学生时代。	[C 4b] 一看到这本书，我就想起学生时代。
[T 4a] **nǎŋsŭɯ lêm níi** tham hây chǎn núkthŭŋ rûaŋ samăi thîi yaŋ pen nákrian yùu	[T 4b] phɔɔ ʔàan nǎŋsŭɯ lêm níi lɛ́ɛw chǎn kɔ̂ɔ núkthŭŋ rûaŋ samăi thîi yaŋ rian yùu
[I 4a] **Buku ini** mengingatkan saya pada masa sekolah.	[I 4b] Saya teringat masa sekolah ketika melihat buku ini.
[A 4a] **il-kitaab da** bi-yfakkir-ni bi-ʔayyaam d-diraasa.	[A 4b] kull maa ʔaʃuuf il-kitaab da b-aftikir ʔayyam d-diraasa.
[P 4a] **in ketāb** man ra yāde dowrane dānešjuyi'am mi'andāzad.	[P 4b] bā didane in ketāb yāde dowrane dānešjuyi'am mi'oftam.
[R 4a] **Эта книга** напоминает мне мои школьные годы.	[R 4b] Когда я смотрю на эту книгу, я вспоминаю свои школьные годы.
[S 4a] **Este libro** me hace acordar de cuando era estudiante.	[S 4b]?? Al ver este libro recuerdo mi época de estudiante.《映画のセリフか文学の表現》

[E 4a] **This book** reminds me of my school days.	[E 4b] Whenever I see this book, I remember my school days.

[J 5a] **この薬が**あなたを治すだろう。	[J 5b] この薬であなたは治るだろう。
[K 5a] ? **'i 'yag**'i nərɯr gocir gəs'ida.	[K 5b] 'i 'yag'ɯro nənɯn na'ɯr gəs'ida. 《自然な表現：'i 'yag'i nərɯr nasgəi har gəs'ida.「…治るようにするだろう」》
[N 5a] **əi okto** simbiə okčiǰaraa.	[N 5b] əi oktoǰi sii ajanagoǰaači-ma.
[M 5a] **ene em** tanyg edgeene baixaa.	[M 5b] ene emiig uugaad ta edgerex baixaa. 《この薬を飲んで…》
[U 5a] ?? **bu dora** sizni saqaytidu. 《医者など人が主語なら問題なく使える》	[U 5b] bu dorini yisiŋiz saqiyisiz.
[C 5a]? **这个药**会治好你的。《総記の解釈なら言えるかもしれない》	[C 5b] 服用这个药你会好的。
[T 5a]?? **yaa níi** càʔ ráksǎa khun	[T 5b] thâa dùɯm yaa níi lɛ́ɛw khun kɔ̂ɔ khoŋ hǎay (pùai)
[I 5a]* **Obat ini** mungkin akan menyembuhkanmu.《自然な表現：Obat ini mungkin akan membuatmu sembuh.「あなたを健康にする」物主語のみをとる動詞。》	[I 5b]? Dengan obat ini mungkin kamu akan sembuh.《自然な表現：Jika minum obat ini mungkin kamu akan sembuh.「この薬を飲めば…」》
[A 5a] **id-dawa da** ħa-yiʃfi-k.	[A 5b] ħa-txiff bi-d-dawa da.
[P 5a] **in dāru** šomā rā xub mikonad.	[P 5b] bā in dāru šomā xub mišavid.
[R 5a] **Это лекарство** тебя вылечит / тебе поможет.	[R 5b] ?? Ты вылечишься благодаря этому лекарству.
[S 5a]?? **Esta medicina** te salvará	[S 5b]? Te vas a mejorar gracias a esta medicina.《自然な表現：Si tomas esta medicina vas a estar mejor.「この薬を飲んだら…」》
[E 5a]? **This medicine** will cure you.	[E 5b] You will be cured by this medicine.

[J 6a] **雲が**太陽を隠した。	[J 6b] 雲で太陽が隠れた。
[K6a] ? **gurɯm**'i taiyang'ɯr gamcu'əssda.	[K 6b] ? gurɯm'ɯro taiyang'i gamcu'əjəssda. 《自然な表現：gurɯm'i taiyang'ɯr garyəssda.「…さえぎった」》
[N 6a] **təwəksə** siumbə dasixani.	[N 6b] təwəksəǰi / təwəksədu siun sirixani. 《具格でも与格でもどちらでもよい》
[M 6a] **üül** naryg xaasan.	[M 6b] üülend nar xalxlagdsan.《雲に》
[U 6a] **bulut** quyašni yošurdi.《文学的表現》 《自然な表現：bulut quyašni tosiwaldi.「さえ	[U 6b] quyaš bulutniŋ kæynigæ yošurundi. 《雲の後ろに…》

ぎる」》	
[C 6a] 云把太阳遮住了。《“把”構文を使わないと少し不自然、文学的：？云遮住了太阳。》	[C 6b] ?? 太阳藏在云里。《文学的で奇妙》
[T 6a] ?? **mêek** sɔ̂ɔn duaŋʔaathít.	[T 6b] duaŋʔaathít sɔ̂ɔn dooi mêek.
[I 6a] **Awan** menutupi matahari.	[I 6b] Matahari tertutup oleh awan.《隠された、閉じられた》
[A 6a] **is-saħaab** xabba ʃ-ʃams.	[A 6b] ? iʃ-ʃams ʔistaxabbat min s-saħaab.《「太陽が隠れた」のように「太陽」が主語になると、比喩としての読みが強くなる》
[P 6a] **abr** joloye xoršid rā gereft.	[P 6b] xoršid pošte abr penhān šod.《太陽が雲の裏側に行ってしまった》
[R 6a] **Облака** скрыли солнце.	[R 6b] Солнце скрылось за облаками.
[S 6a] **Las nubes** cubrieron el Sol.	[S 6b]* El Sol fue cubierto por las nubes.《この動詞は広いものを覆う場合に用いる》
[E 6a]? **The cloud** covered the sun.	[E 6b] The sun was hidden by clouds.

[J 7a] **ひどい雨が**私の子をずぶぬれにしてしまった。	[J 7b] 私の子はひどい雨でずぶぬれになってしまった。
[K 7a] ?? **bi**ga cəi ’a’irɯr hɯmbbəg jəjgəi haissda.	[K 7b] cəi ’a’inɯn birɯr maj’asə hɯmbbəg jəj’ə bəryəssda.《雨に遭って…》
[N 7a] **maŋga tugdə** mii piktəjijə čakpawaaŋkini.	[N 7b] mii piktəji maŋga tugdədu čiək čiək čakpaxani.
[M 7a]?? **aadar boroo** manaj xüüxdijg norgočixson.《無生物が目的語ならよくなる》	[M] manaj xüüxed aadar boroond šalba norčixson.
[U 7a] **yamʁur** balamni höl qiliwætti.《ふつう人間主語で使うので、人間扱いして雨を責めているようなニュアンス》	[U 7b] balam yamʁurda höl bolup kætti.
[C 7a] **大雨**把我的孩子浇得全身湿透了。	[C 7b] 我的孩子被大雨浇得全身湿透了。
[T 7a] **fŏn tòk nàk** tham hâi lûuk khŏoŋ tɕhăn pìak tɕhôok.	[T 7b] lûuk khŏoŋ tɕhăn pìak tɕhôok phrɔʔ fŏn tòk nàk.
[I 7a] **Hujan deras** membuat anak saya jadi basah kuyup.	[I 7b] Anak saya jadi basah kuyup gara-gara hujan deras.
[A 7a] **il-matˤara** ʃ-ʃadiida ballt ibn-i ʕusˤratan.	[A 7b] ibn-i ʔitball ʕusˤratan min il-matˤara.
[P 7a] **bārān** bače’am rā (kāmelan) xis kard.	[P 7b] beče’am zire barran (kāmelan) xis šod.《…雨の下で…》
[R 7a]?? **Дождь** насквозь промочил моего ребенка.	[R 7b] Мой ребенок насквозь промок из-за дождя.
[S 7a]* **La lluvia** mojó a mi hijo.	[S 7b] Mi hijo se mojó por la lluvia.

[E 7a]* **A heavy rain** made my son get wet.	[E 7b]? My son got wet by the heavy rain.

[J 8a] **その車は**私に 100 万円を使わせた。	[J 8b] その車は 100 万円かかった。
[K 8a] * **gɯ ca**nɯn nahantəi baigman'əin'ɯr ssɯgəi haissda.	[K 8b] geu canɯn baigman'əin yəssda. 《…100 万円だった》
[N 8a] * **əi mashina** mimbiə 1000 tiəsəwə (ǰixawa) buuwəəŋkini.《1000 ルーブル》	[N 8b] mii əi mashinala 1000 tiəsəwə buuxəmbi.
[M 8a] **ter mašin** / ter mašind 1,000,000 jen zartsuuluulsan.《車に…使わせられた》《修理費がかかった、など状況により OK。ガソリンなどが主語ならもっと自然》	[M 8b] ter mašin 1,000,000 jenij unetej bajsan. / 1,000,000 yen bolson.
[U 8a] **u mašina** meni 100 tümæn yin hæjligili saldi.《やはり人間扱いし車を責めている感じ。そういう時なら自然に使える。》	[U 8b] u mašiniʁa 100 tümæn yin hæjlidim. 《…私が使った》
[C 8a] **那辆车**花了我 100 万日元。	[C 8b] ? 那辆车花了 100 万日元。
[T 8a] **rót khan nán** tham hây chǎn sĭa ŋən 1 láan bàat	[T 8b] rót khan nán (mii) raakhaa 1 láan bàat
[I 8a]? **Mobil itu** membuat saya menghabiskan 1 juta yen.《人間主語の方が自然。自然な表現：Saya menghabiskan 1 juta yen untuk membeli mobil itu.「私はその車を買うのに 100 万円払った」》	[I 8b] Harga mobil itu 1 juta yen. 《その車の値段は 100 万円だった》
[A 8a] **il-ʕarabiiya di** xalliit-ni ʔasˤrif miliyuun yen.	[A 8b] il-ʕarabiiya di kallift-ni miliyuun yen
[P 8a] **in māšin** yek milyun yen barām xarj bardāšt.	[P 8b] qeymate in māšin yek milyun yen ast. 《その車の値段は 100 万円だ》
[R 8a] **Эта машина** стоила мне миллион йен.	[R 8b] Эта машина стоила миллион йен.
[S 8a] **El automóvil** me costó un milón de yenes.	[S 8b] El automóvil costaba un milón de yenes.
[E 8a]? **The car** cost me one million yen.	[E 8b] The car cost one million yen.

[J 9a] **大きな台風が**東京を襲った。	[J 9b] 東京が大きな台風に襲われた。
[K 9a] kɯn taipung'i donggyəng'ɯr dəpcyəssda.	[K 9b] * donggyəng'i kɯn taipung'əi dəpcyəjyəssda.
[N 9a] * **maŋga tajfun** buriwə xukčuxəni.《ハバロフスクを》《自然な文：maŋga tajfun buriwə / burilə isixani.「台風が…着いた」》	[N 9b] buri maŋga tajfunǰi xukčuiwə / xukčuuriwə baaxani.《台風で襲撃に遭った》

[M 9a] **dalajn xar salxi** tokjög dajrsan.	[M 9b] tokjö dalajn xar salxind dairuulsan.
[U 9a] **küčlük tæyfiŋ borini** tokyoʁa xujum kildi.《…襲撃 した》	[U 9b] tokyo küčlük tæyfing borininiŋ xujumiʁa učridi.《…襲撃に 遭った》
[C 9a]?? **台风**袭击了东京。《天気予報なら言えるかもしれないがかなり変、自然な表現：台风到东京了。》	[C 9b] * 东京被台风袭击了。
[T 9a] **tâifùn** lûuk jài phát thàlòm tookyiaw.	[T 9b] tookyiaw doon tâifùn lûuk jài phát thàlòm
[I 9a]?? **Angin topan** menyerang Tokyo.	[I 9b]* Tokyo diserang angin topan.
[A 9a] **tayfuun ʔawi** dˤarab tˤuukiyuu.	[A 9b] ?? tˤuukiyuu indˤarabt min tayfuun ʔawi.
[P 9a] **tuufān** tehrān rā dar bar gereft.《覆った》 tuufān tehrān rā darnavardid.《通った》	[P 9b]? tehraan tava**ss**ote tuufaan darnavardide šod.
[R 9a] **Сильный тайфун** ударил по Токио.	[R 9b] ?? Токио был атакован сильным тайфуном. 《自然な表現：В Токио разбушевался тайфун.》
[S 9a] **Un gran tifón** azotó tokio.	[S 9b] Tokio fue azotado por un gran tifón.《より自然なのは Un gran tifón vino a Tokyo.「…来た」》
[E 9a] **A big typhoon** hit Tokyo.	[E 9b]?? Tokyo was hit by a big typhoon.

[J 10a] **そのニュースは**私を驚かせた。	[J 10b] 私はそのニュースに驚いた。
[K 10a]? **gɯ nyusɯ**nɯn narɯr norragəi haissda.《翻訳的》	[K 10b] jənɯn gɯ nyusɯrɯr dɯdgo norrassda.《そのニュースを聞いて…》
[N 10a] **təi mədəə** mimbiə ərdəŋgəsiwəəŋkini / olowaaŋkini.	[N 10b] mii təi mədəəǰi / mədəədu ərdəŋgəsixəmbi / oloxambi.
[M 10a] **ter medee** namajg cočirduulsan.	[M 10b] ter medeeg sonsood bi cočirdson.《そのニュースを聞いて…》
[U 10a] **u hæwær** meni xæyran qaldurdi.	[U 10b] mæn u hæwærdin xæyran qaldim.
[C 10a] **那则新闻**让我吃惊。《より自然な表現：听到那则新闻让我很吃惊。「聞いて」》	[C 10b] 我听到那则新闻，很吃惊。
[T 10a]? **khàaw nán** tham hây chǎn tòkcay	[T 10b] chǎn rúusùk tòkcay mûa dâyyin khàaw nán
[I 10a] **Berita itu** membuat saya terkejut.《日本語に相当》? Berita itu mengejutkan saya.《英語に相当する表現》	[I 10b] Saya dikejutkan oleh berita itu.
[A 10a] **il-xabar da** dahaʃ-ni.	[A 10b] ʔana indahaʃt min il-xabar da.
[P 10a] **xabar** man rā šegeft-zade kard.	[P 10b] man az in xabar šegeft-zade šodam.
[R 10a] **Эти новости** меня удивили.	[R 10b] Я удивился этой новости.

	Я был удивлен этой новостью.
[S 10a] **La noticia** me sorprendió.	[S 10b] * Yo fui sorprendido por la noticia.
[E 10a] ? **The news** surprised me.	[E 10b] I was surprised by the news.

[J 11a]**そのプレゼントは**あの人を喜ばせた。	[J 11b] あの人はそのプレゼントに喜んだ。
[K 11a] ? **gɯ sənmur**'ɯn gɯ saram'ɯr gibbɯgəi haissda.《翻訳的》	[K 11b] gɯ saram'ɯn gɯ sənmur'ɯr badgo gibbə haissda.《プレゼントをもらって…》
[N 11a] **təi suglən** ňoambani agdawaaŋkini.	[N 11b] ňoani təi sugləmbə baaraa agdaxani. 《プレゼントをもらって…》
[M 11a] **ter beleg** ter xünijg bayarluulsan.	[M 11b] ter xün ter belgijg avaad bayarlasan. 《プレゼントをもらって…》
[U 11a] **u sowʁat** uni hušal qildi.	[U 11b] u u sowʁattin hušal bodi.
[C 11a] **那个礼物**让他感到惊喜。	[C 11b] 他收到礼物很高兴。
[T 11a] ? **khɔ̌ɔŋkhwǎn chín nán** tham hây khǎw diicay	[T 11b] khǎw duu diicay mûa dâyráp khɔ̌ɔŋkhwǎn nán
[I 11a] **Hadiah itu** membuat orang itu bahagia./Hadiah itu membahagiakan orang itu.	[I 11b] Orang itu bahagia oleh hadiah itu.
[A 11a] **il-hidiiya** basatˤt-h.	[A 11b] huwa inbasatˤ min il-hidiiya.
[P 11a] **ān hediye** u rā xoshāl kard.	[P 11b] u az ān hediye xoshāl šod.
[R 11a] **Этот подарок** его обрадовал.	[R 11b] Он обрадовался этому подарку.
[S 11a] **El regalo** le gustó (a él).	[S 11b] Él se alegró por el regalo.
[E 11a] ?? **The present** pleased him.	[E 11b] He was pleased with the present.

[J 12a] **息子のばかな質問は**私を怒らせた。	[J 12b] （私は）息子のばかな質問に腹が立った。
[K 12a]? **'adɯr'ɯi babo gat'ɯn jirmun**'i jərɯr hwa nagəi haissda.	[K 12b] jənɯn 'adɯr'ɯi babo gat'ɯn jirmun'əi hwaga nassda.
[N 12a] **mii piktəji əədən ǰakawa mədəsixəni** mimbiə ajaktalowaaŋkini.《息子がバカなことを訊いたのは…》	[N 12b] mii piktəji əədən ǰakawa mədəsixənduəni ajaktalaxambi.
[M 12a] **xüügijn maan' teneg asuult** minij uuryg hürgesen.	[M 12b] xüügijnxee teneg asuultand uur hürsen.
[U 12a] **oʁlumniŋ qamlašmiʁan su'ali** aččiqimni kæltürdi.	[U 12b] oʁlumniŋ qamlašmiʁan su'aliʁa aččiqim kældi.
[C 12a] **儿子提的笨问题**让我很生气。	[C 12b] 我听到儿子提的笨问题很生气。
[T 12a] ? **khamthǎam plɛ̀ɛk plɛ̀ɛk khɔ̌ɔŋ lûukchaay** tham hây chǎn kròot	[T 12b] chǎn kròot phrɔ́ʔ lûukchaay thǎam khamthǎam plɛ̀ɛk plɛ̀ɛk
[I 12a] **Pertanyaan bodoh anak saya**	[I 12b] ? Saya marah oleh pertanyaan bodoh anak

membuat saya marah.	saya.《より自然：Saya marah karena ditanyai pertanyaan bodoh oleh anak saya.》
[A 12a] **suʔaal ibn-i l-ɣabi** narfiz-ni.	[A 12b] ʔana itnarfizt min suʔaal ibn-i l-ɣabi.
[P 12a] **so'āle ahmaqāne-ye pesaram** man rā asabāni kard.	[P] so'āle ahmaqāne-ye pesaram man rā asabāni šod.
[R 12a] Меня разозлил **глупый вопрос сына**.	[R 12b] Я разозлился из-за глупого вопроса сына.
[S 12a] **La pregunta estúpida de mi hijo** me hizo enojar.	[S 12b] Yo me enojé por la pregunta estúpida de mi hijo.
[E 12a] **My son's foolish question** irritated me.	[E 12b] I was irritated by my son's foolish question.

[J 13a] 通りに**雪が**寝ていた。	[J 13b] 通りに人が寝ていた。
[K 13a]* gil'əi **nun**'i jago 'iss'əssda.	[K 13b] gil'əi saram'i jago 'iss'əssda.
[N 13a]* boala **simata** apsindiini.	[N 13b] boala əm nai apsindiini.
[M 13a] * zam deer **cas** untaž bajsan.	[M 13b] zam deer xün untaž bajsan.
[U 13a]* kočida **qar** yetiptu. 《本などなら、（誰かが）寝かせておいた（yatquzup qoyuptu）のような表現が可。yetip-はもっぱら人間動物に使うが、木が倒れたのなら OK.。雪はどの表現も不可。》	[U 13b] kočida birsi yetiptu..
[C 13a]* 有**雪**躺在大街上。	[C 13b] 有人躺在大街上。
[T 13a] * **hìmáʔ** nɔɔn yùu thîi thanŏn	[T 13b] khon nɔɔn yùu thîi thanŏn
[I 13a] * **Salju** tidur di jalan.	[I 13b] Orang tidur di jalan.
[A 13a] kaan fi talg **katiir mutaraakim** fi ʃ-ʃaariʕ.	[A 13b] kaan fi waaħid naaim fi ʃ-ʃaariʕ.
[P 13a] dar xiyābān **barfe ziyādi** nešaste bud.《座っていた》	[P 13b] yek nafar dar xiyābān xābide bud.
[R 13a] На улице лежал **снег**.	[R 13b] На улице лежал человек.
[S 13a] * Había **nieve** durmiendo en la calle.	[S 13b] Había una persona durmiendo en la calle.
[E 13a] **A lot of snow** lay on the street.	[E 13b] A man lay on the street.

[J 14a] **ステッキが**あそこに立っていた。（今はない）	[J 14b] （さっき）私はあそこに立っていた。
[K 14a]* **jipang'i**ga gəgi'əi sə 'iss'əssda. 《自然な表現：jipang'iga gəgi'əi səi'wəjyə 'iss'əssda.「…立たせてあった」》	[K 14b] jənɯn gəgi'əi sə 'iss'əssda.

[N 14a] **əm mookaan** čado ilisixani.	[N 14b] mii čado ilisixambi.
[M 14a] * **tajag** tend zogsož bajsan. 《自然な表現：tajgyg tend bosgood tavisan bajsan.「ステッキを…立てて置いてあった」》	[M 14b] bi tend zogsož bajsan.
[U 14a] awu yærdæ **bir xasa** turatti. 《tur-は「いる、ある」の意味で普通に使う》	[U 14b] men awu yærdæ turʁan.
[C 14a] * **拐杖**站在那里。	[C 14b] 刚才我站在那里。
[T 14a] * **máytháaw** yùɯn yùu troŋ nán	[T 14b] chǎn yùɯn yùu troŋ nán
[I 14a] * **Tongkat** berdiri di sana.	[I 14b] Saya berdiri di sana.
[A 14a] * **il-ʕasˤaaya** kaanat waaʔifa hinaak min ʃiwayya.	[A] ʔana kunt qaaʔif hinaak min ʃiwayya.
[P 14a] * **asā** ānjā istāde bud.	[P 14b] man ānjā istāde budam.
[R 14a] **Палка** стояла там.	[R 14b] Я стоял там.
[S 14a] * **Un palo** estaba parado ahí.	[S 14b] Yo estaba parado ahí.
[E 14a] **A stick** was standing against the wall.	[E 14b] I was standing there.

[J 15a] **その家は**丘の上に座っている。	[J 15b] あの人は箱の上に座っている。
[K 15a]* **gɯ jib**'ɯn əndəg 'ui'əi 'anja 'issda.	[K 15b] gɯ saramɯn saŋja 'ui'əi 'anja 'issda.
[N 15a]* **təi ǰoo** xurəən ojaalani təəsiini. 《təi ǰoo xurəən ojaalani ilisiini.「立っている」であればよい》	[N 15b] təi nai siaŋsa ojaalani təəsiini.
[M 15a] * **ter ger** uulan deer suuž bajna.	[M 15b] ter xün xaircagan deer suuž bajna.
[U 15a]* **u öy** taʁGniŋ üstidæ olturidu.	[U 15b] u adæm üstælniŋ üstidæ olturidu.
[C 15a] * **那栋房子**坐在山丘上。	[C 15b] 那个人正坐在箱子上。
[T 15a] * **bâan lǎŋ nán** nâŋ yùu bon nəən	[T 15b] khon khon nán nâŋ yùu bon klòŋ
[I 15a] * **Rumah itu** duduk di atas bukit.	[I 15b] Orang itu duduk di atas kotak.
[A 15a] * **il-beet da** ʔaaid ʕala l-hadˤba.	[A 15b] huwwa ʔaaʕid ʕala sˤ-sˤunduuʔ.
[P 15a] * **xāne** ruye tappe nešaste ast.	[P 15b] u ruye ja'be nešaste ast.
[R 15a]* **Этот дом** сидит на сопке.	[R 15b] Он сидит на коробке.
[S 15a] * **La casa** se sienta sobre la colina.	[S 15b] Esa persona esta sentada sobre una caja.
[E 15a]? **The house** sits on a hill.	[E 15b]? He sits on the box.

[J 16a] **その標識は**「危険」だと言う。	[J 16b] その標識には「危険」と書いてある。
[K 16a]?? **gɯ pyosig**'ɯn 'uihəm 'irago marhanda.	[K 16b] gɯ pyosig'əinɯn 'uihəm 'irago ssə 'issda.
[N 16a]* **təi znaka** "ŋəələpsi"-m undiini.	[N 16b] təi znakado "ŋəələpsi"-m nilučəku.
[M 16a] * **ter temdeglegee** "ajultaj" gež xelsen.	[M 16b] ter temdeglegeen deer "ajultaj" gež

	bičeestej bajna.
[U 16a]?? **u bælgæ** hætærlik dæydu. 《擬人化した感じ、わかるが誰も言わない》	[U 16b] u bælgidæ hætærlik dap turidu.
[C 16a]* **那个标志**说“危险”。	[C 16b] 那个标志上写着“危险”。
[T 16a] **pâay nán** bɔ̀ɔk wâa "ʔantaraay"	[T 16b] pâay nán khǐan wáy wâa "ʔantaraay"
[I 16a]?? **Tangda itu** mengatakan bahaya.	[I 16b] Di tangda itu tertulis bahaya.
[A 16a] **il-yaftˤa** bi-tʔuul xatˤar.	[A 16b] il-yaftˤa maktuub ʕalee-ha xatˤar.
[P 16a] **in alāmat** miguyad ke injaa xatarnāk ast.	[P 16b] injā nevešte “xatar”.
[R 16a] **Этот знак** говорит об опасность.	[R 16b] На этом знаке написано »опасность».
[S 16a] **El letrero** dice “peligro”.	[S 16b]? En el letrero está escrita la palabra “peligro”. 《物語のようで、口語では使わない》
[E 16a] **The sign** says “Danger.”	[E 16b]? “Danger” is written on the sign.

[J 17a]**彼女の顔は**その悲しみを語っていた。	[J 17b] 彼女の顔はとても悲しそうだった。
[K 17a]? **gɯnyə’ɯi ərgur**’ɯn gɯ sɯrpum’ɯr marhago ‘iss’əssda.	[K 17b] gɯnyə’ɯi ərgur’ɯn cam sɯrpun ges gat’assda.
[N 17a]* **təi əktə dərəŋni** orkilaa biiwəni gusərəxəni.	[N 17b] təi əktə dərəŋni orkilaa ičəuri / ičəptiini.
[M 17a]* **ter oxiny caraj** ujtgar gunigijg jariž bajsan.	[M 17b] ter oxiny caraj maš gunigtaj bajsan.
[U 17a] **uniŋ čirayi** uniŋ azabliridin söz ečip turatti.	[U 17b] uniŋ čirayi nahayiti azabliq körünætti.
[C 17a]? **她的脸**叙说着悲伤。《文学的描写なら可》	[C 17b] 她的脸看上去很悲伤。
[T 17a]? **nâa khɔ̌ɔŋ** thəə bòŋ bɔ̀ɔk khwaam sâw khɔ̌ɔŋ thəə.	[T 17b] sǐi nâa khɔ̌ɔŋ thəə duu sâaw sɔ̂ɔi mâak
[I 17a]?? **Wajah perempuan itu** mengatakan kesedihan.	[I 17b] Wajah perempuan terlihat menyedihkan.
[A 17a] **wiʃʃ-ha** bi-yitkallim ʕan ħuzn-ha.	[A 17b] wiʃ-ha kaan baayin ʕalee-h il-ħuzn.
[P 17a]? **surateš** az darde daruniš sohbat mikone.《言えるが、一番普通な動詞「見せる」ではないので比喩的な感じがする》	[P 17a] surateš xeyli qamgin bud.
[R 17a] **Ее лицо** говорило о том, что ей грустно.	[R 17b] Ее лицо выглядит печальным.
[S 17a]?? **Su cara** contaba su tristeza.	[S 17b] Su cara se veía triste.
[E 17a]? **Her face** told her grief.	[E 17b] Her face was very sad.

[J 18a] **何が**おまえをそんな風に考えさせるのか？	[J 18b] どうしてお前はそんな風に考えるのか？
[K 18a] **mu'əs**'i nərɯr gɯrən sig'ɯro saiŋgaghagəi haissnɯnga?	[K 18b] 'wai nənɯn gɯrənsig'ɯro saiŋgaghanɯnga?
[N 18a] **xai** simbiə tui murčiwəəndiini / gasowaadiini? 《考えさせる / 悲しませる、gasowaadiini のほうがよいという》	[N 18b] xaimi sii tui murčiisi?
[M 18a] **ju** čamajg tegž yum boduulaad bajgaa yum be?	[M 18b] jaagaad či tegž bodood bajgaa jum ve?
[U 18a]? **nimæ** seni šundaq oyʁa saldi? 《文学的表現》	[U 18b] nimišqa undaq oyʁa kældiŋ?《固い表現》《自然な表現 : nimišiqa undaq dæysen?「そんな風に言うのか？》
[C 18a] 是**什么**让你那样想的？	[C 18b] 为什么你那样想？
[T 18a] **ʔàrai** tham hâi thəə khít bɛ̀ɛb nán.	[T 18b] thammai thəə khít bɛ̀ɛb nán.
[I 18a] **Apa** yang membuatmu berpikir seperti itu.	[I 18b] Kenapa kamu berpikir seperti itu.
[A 18a]? **eeh** b-yuxallii-k tufakkir ke-daa.	[A 18b] eeh ellii b-yuxallii-k tufakkir bi-ʃakl daa.《あなたをこんな風に考えさせるものは何か？》
[P 18a] **či** bā'es šod ke untowri fekr koni?	[P 18b] čeraa to unjuri fekr mikoni?
[R 18a] **Что** заставляет тебя так думать?	[R 18b] Почему ты так думаешь?
[S 18a] * ¿**Qué** es lo que te hace pensar eso?	[S 18b] ¿Por qué pensás que es así?
[E 18a] **What** makes you think so?	[E 18b] Why do you think so?

[J 19a] **そのカギが**ドアを開けた。	[J 19b] そのカギでドアが開いた。
[K 19a]? **gɯ 'yərsoi**ga mun'ɯr 'yər'əssda. 《翻訳口調に聞こえる》	[K 19b] gɯ 'yərsoiro mun'i yərryəssda.
[N 19a]* təi anako uikəwə nixəlixəni.	[N 19b] təi anakoǰi uikə nixəlikpini.
[M 19a] * **ter tülxüür** xaalgyg ongojlgoson.	[M 19b] ter tülxüreer xaalga ongojson.
[U 19a]?? **u ačquč** išikni ačti.	[U 19b] u ačqučta išik ečildi.
[C 19a]* **那把钥匙**打开了门。《"把"構文で、なおかつ一般論・総記の解釈なら可 : 这把钥匙可以打开这扇门。》	[C 19b] 用那把钥匙打开了门。《より自然な文は我用那把钥匙打开了门。》
[T 19a] * **kuncɛɛ ʔan nán** pə̀ət pratuu	[T 19b] pràtuu pə̀ət dûay kuntɕɛɛ dɔ̀ɔk nán.
[I 19a] * **Kunci itu** membuka pintu.	[I 19b]? Dengan kunci itu pintu terbuka. 《menggunakan「(カギを) 使う」という動詞を用いた表現の方が自然》

[A 19a] **il-miftaaħ daa** fataħ l-baab.	[A 19b] il-baab ’infataħ bi-l-miftaaħ daa.《そのドアはこの鍵で開けられた》
[P 19a] **kelid** dar rā bāz kard.	[P 19a] dar be vasileye ān kelid bāz šod.《総記、鍵が主語の方が良い》
[R 19a]?? **Этот ключ** открыл эту дверь.《カギが人間か何かのようで変。恒常的なアスペクトにして、属性叙述にすれば問題なく言える：Этот ключ открывает эту дверь.》	[R 19b] Я открыл дверь этим ключем.
[S 19a] ?? **La llave** abrió la puerta.	[S 19b] Yo abrí la puerta con la llave.
[E 19a] ? **The key** opened the door.	[E 19b] The door was opened by the key.

The Inanimate Subject from the Perspective of Linguistic Area and Linguistic Typology

Shinjiro KAZAMA
(Tokyo University of Foreign Studies)

It has already been crosslinguistically shown how animate subjects are preferred in marked voice sentences (e.g. passive or causative). However, few studies have crosslinguistically investigated the extent to which an animate agent should be a subject in unmarked voice sentences. In this paper I examine this problem through a questionnaire (19 pairs of sentences) in 13 languages of different areas and different language families. Then I consider the following questions.

[1] Are the languages classified into the two extreme types, i.e., the animate subject-oriented languages and the languages almost without restriction?
[2] Does the inclination/disinclination to animate subjects of the language have an internal relationship with other typological features of the language?
[3] Is the latitude to the inanimate subject different among verbs?
[4] Are there any geographical biases concerning this tendency?

This paper is a first attempt on my consideration of the above questions. In conclusion, I point out the following points:

・Crosslinguistically, inanimate subjects are unacceptable under the condition that the inanimate subject is the direct actor and the object is affected. On the other hand, inanimate subjects are acceptable under the condition that the action is indirect and the inanimate subject is a trigger of human emotion or something similar. This factor can be

considered as that of transitivity.

・Paying attention to the nominal character of the inanimate subject, it can be noticed that the instrumental nouns tend not to be inanimate subjects, although the nouns which have the intentional human participation on the background tend to be inanimate subjects.

・The Japanese language has a strong tendency to avoid inanimate subjects, and the Korean and Indonesian languages follow it. While the Arabic and Persian languages allow inanimate subjects to a considerable extent. SAE also allows them to certain degree. I pointed out the factors of such distinction as follows: 1. Whether the personal inflection on verb exists or not; 2. Grammatical gender exists or not; 3. Voice strategy. The direction of voice change of the languages in question seems to especially be the important typological feature which has systematic relation with other features.

（かざま・しんじろう　kazamas@tufs.ac.jp）